

この度の北海道胆振東部地震におきまして、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

この度の震災から今日までの大会開催に至った経緯につきましてご報告いたします。

当初、開催場所である苫小牧市総合体育館は、苫東厚真火力発電所の復旧工事のための本州救援隊滞在所、救援物資等の保管場所として使用するため、会場の提供が困難との指定管理者の見解でございました。

その後、今週に入り、本州の電力会社救援隊は9月13日で任務が終了、救援物資も他施設で保管可能となり、指定管理者等、関係者で検討した結果、9月18日より体育館の貸出を再開するとの結論に至ったとの報告を受けました。

総合体育館の被害は微少で、演奏・演技のフロアーには全く安全上の問題はないとの見解でございます。

本連盟では当初、開催地の変更や中止も視野に入れて、種々、交渉、検討を重ねて参りましたが、上記のような観点から予定どおり開催の判断をいたしました。

今大会は全国大会への代表を選考する重要なものであり、今後、大きな変化がない限り開催することをご理解いただきたく存じます。

なお、9月11日付のホームページでもお知らせしましたとおり、今後、本震と同じような規模の災害が起きた場合は、延期（開催場所の変更を含む）、又は中止の措置もやむを得ないものと考えております。

また、道内各地の被害の拡大に伴い、本大会出場を断念せざるを得ない団体につきましては、現在の災害の状況に鑑み、参加料の返金、入場券代金の返金等、不利益が極力生じないように取り扱いをする所存でございます。

上記、何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

北海道吹奏楽連盟